

# 大阪府退教情報

2023年8月23日発行第33号  
発行者:大阪府退職教職員連絡協議会 代表:林誠子  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪教組気付  
電話 06-6762-7999

## 岸田政権は本気で核廃絶を求める先頭に

### 8月6日広島、為政者は何を語り、何を聴いたか

今年には戦後78年。米国の原爆投下から78回目の「原爆の日」を迎えた8月6日、広島平和記念公園で平和記念式典が開かれました。4年ぶりにコロナ禍前の規模になり、115カ国の代表も参列しました。

広島市の松井一実市長は平和宣言で「広島ビジョンで～(省略)各国は核兵器が存在する限りにおいて、それを防衛目的に役立てるべきであるとの前提で安全保障政策をとっているとの考えが示されました。しかし核による威嚇を行う為政者がいるということ直視し、私たちに厳しい現実から理想へと導くための具体的な取り組みを早急に始める必要があるのではないのでしょうか。」と訴えました。

### 県知事「核抑止論者のあなた、地球上のすべての生命に対して責任を負えるのか？」と

また、湯崎英彦知事も「～なお世界には核兵器こそが平和の維持に不可欠であるという積極的抑止論の信奉者が存在し～核軍縮の歩みを遅らせています。～万が一、核抑止が破綻した場合、全人類の命、場合によっては地球上の全ての生命に対して責任を負えるのですか。～核兵器は存在する限り、人類滅亡の可能性をはらんでいるというのが紛れもない現実です。その可能性をゼロにするためには廃絶の他にないというのも現実です。～そのためには全ての核保有国が核兵器を手放すことができるように従来の安全保障のあり方を見直すとともに持続可能性の視点から国際社会の一致した目標として核廃絶を目指さなければなりません。」と訴えました。

地元中国新聞の社説に「核抑止論にこれほど焦点があたった原爆の日はかつてなかったのではないか。広島市長と知事が相次いで、核に核で対抗する安全保障政策のリスクを指摘し、それからの脱却を世界のリーダーに訴えた」と掲載されたことを知り、他の新聞でも取り上げてほしかったと思いました。

岸田文雄首相は、挨拶で「広島ビジョン」の成果を強調しました。非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を続けると表明しましたが、今の政権が目指していることとあまりにもかけ離れているため、絵空事のようにしか聞こえず残念でなりません。

広島選出の国会議員として被爆者の思いを受け止め、核廃絶のためなぜ立ち上がらないのかと思ってしまう。真剣に向き合ってほしいです。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略が始まってから1年半。未だに戦争終結の目途がたちません。戦争や紛争の犠牲になるのはいつも子どもたちや若者たちです。

私たちは過去の歴史に学び、再び過ちや悲劇を繰り返してはならないと思います。

(文責:執行役員 谷口啓子)